日時：2023 年 11 月 12 日（日）
場所：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA 研）303 号室

「身体性を通じた社会的分断の超克と多様性の実現」第一回の研究集会（キックオフ・ミーティング）趣旨説明

まず本研究課題では、社会的分断を超克して真に多様性を実現するためには、単にマクロな政治経済的構造だけではなく、日常的なレベルでの身体性の次元にも然るべく焦点を当てていく必要あるのではないか、という問いから出発する。また、ここでいう「身体」とは単なる物理的・生物学的な客体の次元に留まらない豊かな意味合いを内包しているのではないだろうか。また個人の身体にしても、いわばスタンドアローン的に自足しているわけではなく、他者の身体や、衣服や道具などを含む人間以外の人工物、自然物、人間以外の生物などの多様なアクターとの生態学的なネットワークの相互作用の中で、はじめて身体の活動が可能となっているのではないだろうか。もしこれらの根源的な問いが正しいのであれば、身体性の究明には、単なる身体機械論的なアプローチだけでなく、その行為者が属する多様な社会・文化的文脈をも踏まえた、人文・社会科学を中心とする学際的アプローチが必要不可欠である。

この問題意識を前提とする本研究では、近代西欧に端を発する身体軽視のバイアスや普遍主義的な身体観を革新するために、各地の多様な身体性にも目配りした「身体に関する多様で変容的なパラダイム（diverse and transformative paradigm of body）」の構築を提唱していく。すなわち身体を研究するに当たって、それを普遍主義的かつ静態的（固定的）な旧来の身体観のバイアスから解き放って、身体を「多様性（diversity）」と「変容（transformation）」の相から総合的に検討していくことを試みていきたい。

この観点から、本研究では、世界各地の多様で豊かな身体的実践を、個人の身体を取り巻く（他者、人工物等を含む）多様な環境やローカルな社会文化的な文脈に即して、具体的かつ学際的に研究を行う。より具体的には、本研究は、明示的に自覚され言語化されたレベルはもちろん、必ずしも言語化されない暗黙知的な認知プロセスや身体的応答までを含む世界各地の多様な身体的実践の次元に焦点を当てながら、差別を含む社会的分断の超克と、真の多様性の実現に向けた学問的かつ実践的な視座を提供することを主な目的としている。この目的のため、内外の人類学、地域研究、哲学、心理学、障害学、政治学、アート・芸能研究など人文社会系の諸分野はもとより、認知科学、運動科学、神経科学、工学など理系的手法を含む研究分野に従事する研究者、さらにはアーティスト、障害をもつ当事者などを含む多様なステイクホルダーとの協働によって、分断の超克と多様性の実現への提言を与えることのできる視座を＜共創＞することを目指す。

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業
（学術知共創プログラム）
＜課題B＞「分断社会の超克」

身体性を通じた社会的分断の超克と多様性の実現
第一回研究集会（キックオフ・ミーティング）

趣旨説明

研究代表
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
床呂郁哉

1

自己紹介とイントロダクション
ムスリム社会研究からポピュラー文化フィールドワークへ

- 東南アジアのムスリム社会、特にフィリピン南部紛争地域のムスリム少数民族（「モロ人」サマ人）の人類学的研究：紛争、移民/難民、宗教実践等
- 2000年代：物質文化「もの」の人類学：人類学・考古学・霊長類学などとの共同研究
- ヒトとヒト以外の存在をなるべく連続的に捉える。世界各地の真珠の生産と利用
- 2017年以降：顔と身体に関する科研「トランスカルチャー状況下における顔・身体学の構築」（新学術：山口先生代表）心理学・認知科学・哲学などとの学際的共同研究
- SNS上のムスリム・ファッション、日本発のポピュラー文化（カワイイ文化／オタク文化）の現地若者層への受容等：身体変容の技法としてのコスプレ等
- 今回：身体性を通じた社会的分断の超克と多様性の実現（学振・学術知共創）

床呂自己紹介②
技術的実践における＜もの＞と身体のダイナミクス
各地の身体化された技術（embodied　technology）

- 上：「山アテ」的技法を使って航行し漁をする漁民（ボルネオ島サマ人）
- 下：挿核作業中の真珠養殖職人（日本）
- いずれも「熟練」が必要な、身体化された技術実践
- 舟や海、真珠貝やメスといった多様な＜もの＞や環境とのダイナミクス

自己紹介続き③：各地の身体的表現（身体装飾・パフォーマンス等）

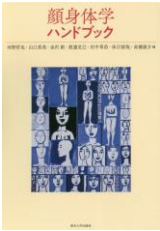
- アート／テクノロジー二分法を越境する＜わざ＞：各地の身体的表現、身体装飾、パフォーマンス等
- トランスカルチャー状況下の身体表現（科研新学術「トランスカルチャー状況下の顔身体学の構築」）・・同質化と異質化の同時進行？
- 例：セルフィーをFB等のSNSにアップし顔を晒す行為とイスラーム圏でのベール使用での顔を隠す行為の同時進行
- ヒジャーブコスプレ・・日本発のオタク／カワイイ文化とイスラーム的身体規範の混淆

Hijab Cosplay

インドネシアの事例はRastani（2021）ら参照

自己紹介続き
身体装飾における＜もの＞と身体のダイナミクス
ニカブ（左）着用による身体性や社会関係の変容

フィリピン・ダバオ市でのインタビューから抜粋：「ニカブまで被るともう以前には戻れない」：単に着脱可能な衣服というより、「もの」独自の存在感を備え、身につける人を変化させていく。ニカブ着用しはじめると、それ以前に戻るには非常に抵抗。人が道具としての衣服を使うというより、身につける衣服によって人が変わる。ニカブ着用の女性には男も下手にちょっかい出さないなど周囲との社会的な関係性も変わる。
ニカブという＜もの＞のエージェンシー



課題設定による先導的人文学・社会科学研究
推進事業（学術知共創プログラム）
＜課題B＞「分断社会の超克」

身体性を通じた社会的分断の超克と多様性の実現

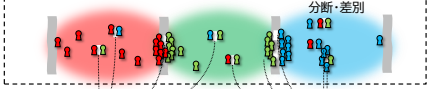
趣旨説明

8

研究背景　グローバル化等に伴う摩擦・分断／個々人の身体経験の軽視
研究目的「身体性の次元」を通じた理論的・実践的視座の共創→分断超克と多様性

グローバル化・社会の複雑化

人種・民族等の差による分断・差別　　ジェンダー・障害等の指標による分断・差別



Anti-Chinese Riot in Indonesia 1998　（©BBC, July 2014）

マクロな研究視点の進展
よりミクロな視点の軽視？

ローカルな身体経験
へのフォーカス

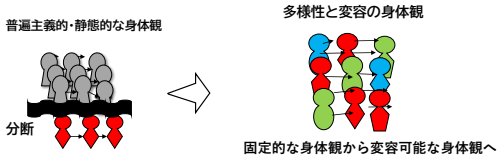
「身体性の次元」アプローチ

・必ずしも言語化されない暗黙知的な認知プロセス・身体的応答まで：認知科学・哲学「人種の現象学」・運動科学等
・人類学・地域研究・障害学等：世界各地の多様な身体的実践の次元に焦点を当て差別・分断の超克と、真の多様性の実現に向けた視座を構築
・アーティスト・障害当事者・NPOなど多様なステイクホルダーとの協働／共創

9

「身体に関する多様で変容的なパラダイム（diverse and transformative paradigm of body）」の構築

普遍主義的・静態的な身体観　　多様性と変容の身体観



固定的な身体観から変容可能な身体観へ

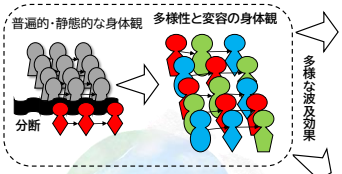
・「多様性（diversity）」：ローカルな身体性が社会的領域において果たす役割は、相対的にトリビュアルな問題に過ぎない、という普遍主義的（西洋中心的）身体観（バイアス）の克服

・「変容（transformation）」：「身体技法」「ハビトゥス」等の先行研究の概念を批判的に発展させ「他者に成る／変身する」可能性を含むより動態的・生成的なパラダイムへ

10

社会への波及効果

普遍的・静態的な身体観　　多様性と変容の身体観



多様な波及効果

社会への提示とアウトリーチ

「対話する」「演じる」
・哲学対話・文化越境的身体実践（TBP）ワークショップ
・VR技術等も活用
・実務家・アーティストなどステークホルダーとの共創

研究者育成

・異分野融合型若手育成セミナー
・研究アプローチの共有・公開

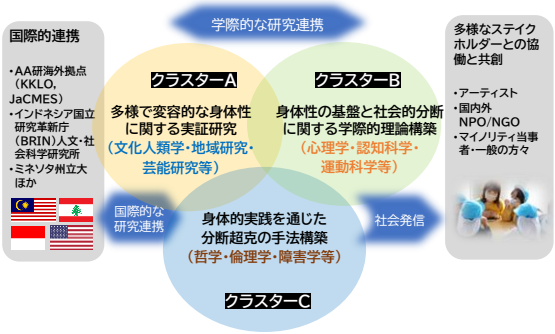
海外連携　JaCMES・KKLO・ミネソタ州立大・インドネシア国立人文・社会科学研究所ほか→世界規模での学術・社会への寄与／成果発信

11

多様な種類の社会的分断を、身体性の観点からどのようにまとめて研究するのか？

- 人種、障害の有無・ジェンダーなど多様な分断・差別
- いずれも見え姿や身体的インタラクション等のミクロな次元に焦点化
- 身体を取り巻く他者の身体や人工物等を含む生態的環境／ローカルな社会・文化的文脈への注目
- 心理学・哲学・人類学等を横断する「生態学的アプローチ」（河野）、「もの／わざ／身体性の人類学」（AA研共同研究課題：床呂）、「顔身体学」（科研新学術：山口）
- 定期的な研究会・WS・シンポジウム・方法論に関する異分野融合セミナー等で知見を共有・統合

12



研究実施体制の概要

13

クラスターA　（リーダー床呂）
多様で変容的な身体性に関する実証研究
（文化人類学・地域研究・芸能研究等）

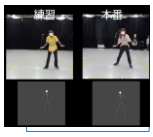
アジア・アフリカでの身体実践のフィールドワーク・参与観察・フィールド実験

- **民族的・宗教的境界の超克**の様態の解明（床呂）
- 分断の超克に向けた**マイノリティ・多様な身体表現**の実態と課題の解明（吉田・村津）
- フィールド実験を通じて、リアルな場での超克の**ミクロなメカニズム**の解明（高橋）

クラスターB（リーダー山口）
身体性の基盤と社会的分断に関する学際的理論構築
（心理学・認知科学・運動科学等）

実験・実証研究→アウトリーチへの展開

- **分断・差別のミクロな身体的基盤**を発達心理学的に解明（山口）
- 差別の根底にある**身体性の潜在的な処理過程**を明らかにする（渡邉）
- 運動科学から多様な**身体的実践のおけるインタラクションの様態**の解明（工藤）
- 他者理解を促進するボディーワークの**実践的ワークショップ**の構築と実践（工藤）



15

クラスターC（リーダー河野）
身体的実践を通じた分断超克の手法構築
（哲学・倫理学・障害学等）

身体性の理論構築→実践知として社会展開

- 生態学的アプローチによる**身体性の哲学・理論**研究（河野）
- 障害者による**芸術実践の実態解明**（田中）とアウトリーチへの応用（田中・クラスタA吉田）
- **人種の現象学・ジェンダーの現象学**の観点から身体性と差別・分断の理論構築（小手川・関本）
- **「哲学対話」「サイエンスカフェ」「TBP」**などの社会展開・多様なステークホルダーとの協働（小手川・河野・田中・森田・丹羽・広瀬・鳴海）

16

文化的に異なる集団間の分断を克服するために身体的実践がどの程度効果的か？　東南アジアなどの研究事例

Anti-Chinese Riot in Indonesia 1998
（©BBC, July 2014）

Bali Bombing　(© Guardian, Oct 2002)

東南アジア：いずれも多民族・多文化社会。過去には民族的ないし宗教／文化的境界をめぐって摩擦や分断が先鋭化し、暴動やテロ・紛争に発展したこともまた近年のイスラーム復興の過程でLGBTQ＋やマイノリティをめぐる緊張なども

他方で芸能・ポピュラー文化等の領域において身体的実践を通じ社会的分断が越境ないし緩和が促進される現象も

17

ポピュラー文化を通じた民族間境界の越境：マレーシアのコスプレ・ファンダム

・マレーシア：政党、学校、メディア（TV時間帯）等は民族（宗教、言語）別が基本：概して民族間境界が鮮明
・日本発ポピュラー文化（アニメ・コスプレ等）のファンダムは稀有な例外のひとつ

写真：いずれもムスリム・マレー人と非ムスリムの華人のコスプレイヤーのペア（撮影：床呂郁哉@クアラルンプール）

18

ポピュラー文化を通じた身体表現の多様性の実現
東南アジア（マレーシア、フィリピン等）における日本発のオタク／カワイイ文化等の領域におけるジェンダー越境／ジェンダー変容的な身体表現：異性装（クロスドレス）

左：男装したフィリピンの女性コスプレイヤー　右：女装したマレーシアのコスプレイヤー
（撮影：床呂郁哉）

19

身体的実践や対話のさまざまな手法をどのように使い分けたり組み合わせたりするのか、また差別意識を持つ人々をそれらの実践や対話にどう引き込むのか？

映画『ぼくたちの哲学教室』（北アイルランドでの哲学対話実践の事例）

- **哲学対話など主に言語実践による手法とダンス・ボディワーク等の非言語的実践を軸とする手法（TBPワークショップ）、工学的手法のいずれかだけではなく、相互補完的なアプローチ**
- **相互にバラバラの一度きりの交流イベントのようなものではなく、一つのプロジェクトを他者と共に担って継続的に協働**
- 【差別意識を持つ人々をどう引き込むのか？】

→いままで数百回の哲学対話を実施してたが、いかなる差別意識ももっていない対話者には会ったことがない（河野）

- **敢えて「引き込む」より前に全ての人が誰でも何かの偏見と差別意識を持っており、それを自覚できていない→意識化・自覚化**

身体的実践を通じた分断超克の方法論の構築；
文化越境的な身体実践：Transcultural Bodily Practice（TBP）ワークショップ

・芸能・ダンス・演劇など身体的パフォーマンス・ボディワークを軸とした実践ワークショップ
・障害者や文化的他者などの「マイノリティ」を含む他者の身体性を疑似的・一時的に体験

・「他者と共振／同調する」「他者に成る／変身する」

・他者の身体経験・感覚をいわば身をもって体験するWS

写真：パリ仮面劇体験ワークショップ（吉田ゆか子提供）

21

研究計画と目標

	2023	2024	2025	2026	2027	2028
	フェイズ１		中間シンポジウム	フェイズ２		最終シンポジウム
A	世界各地の多様な身体実践に関する**基礎データの収集**			地域間の**比較検討**および**分断超克の枠組み構築**		
B	身体性のミクロな**認知的・実践的基盤の解明**			クラスタA/Cとの連携による**社会的文脈への展開**		
C	分断・差別の身体的基盤関する**哲学的・理論構築**			多様なステークホルダーとの協働による**分断超克と多様性実現の方法論の構築**		

国際展開：JaCMES・KKLO・ミネソタ州立大等

社会展開：TBP・哲学対話

多言語出版・論集「身体性を通じた社会的分断の超克と多様性の実現」（仮）

終

ご清聴ありがとうございました。

23

参加者による自己紹介

1ご氏名、ご所属先、
2研究テーマ、研究紹介
3アウトリーチ的活動への提案